

## 運用報告書（全体版）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2008年5月30日から2028年2月21日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主としてインドの金融商品取引所に上場されている消費関連株式に投資を行い、信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外国投資法人「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」（米ドル建て）の投資証券およびわが国の証券投資信託「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の受益証券（振替受益権を含みます。）を主要投資対象とします。
組入制限	・投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・株式への直接投資は行いません。
分配方針	毎決算時（毎年2月20日および8月20日、休業日の場合は翌営業日）に、基準価額水準・市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、収益分配を行わないこともあります。

## イーストスプリング・ インド消費関連ファンド

第19期（決算日 2018年2月20日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てにあずかり厚くお礼申し上げます。  
さて、「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」は、上記の決算を行いましたので、ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。  
今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

【お問い合わせ先】

電話番号：03-5224-3400

（受付時間は営業日の午前9時から午後5時まで）

ホームページアドレス：<http://www.eastspring.co.jp/>

〒100-6905

東京都千代田区丸の内2-6-1丸の内パークビルディング

## 最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
15期 (2016年2月22日)	円 10,795	円 0	% △23.2	% 96.9	百万円 4,139
16期 (2016年8月22日)	11,479	1,000	15.6	97.3	5,587
17期 (2017年2月20日)	12,128	1,000	14.4	97.4	9,506
18期 (2017年8月21日)	12,603	1,000	12.2	92.2	18,617
19期 (2018年2月20日)	12,632	0	0.2	95.2	29,832

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 純資産総額の単位未満は切捨てです。

(注3) 当ファンドは公表されている適切な指数が存在しないためベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 当期中の基準価額等の推移

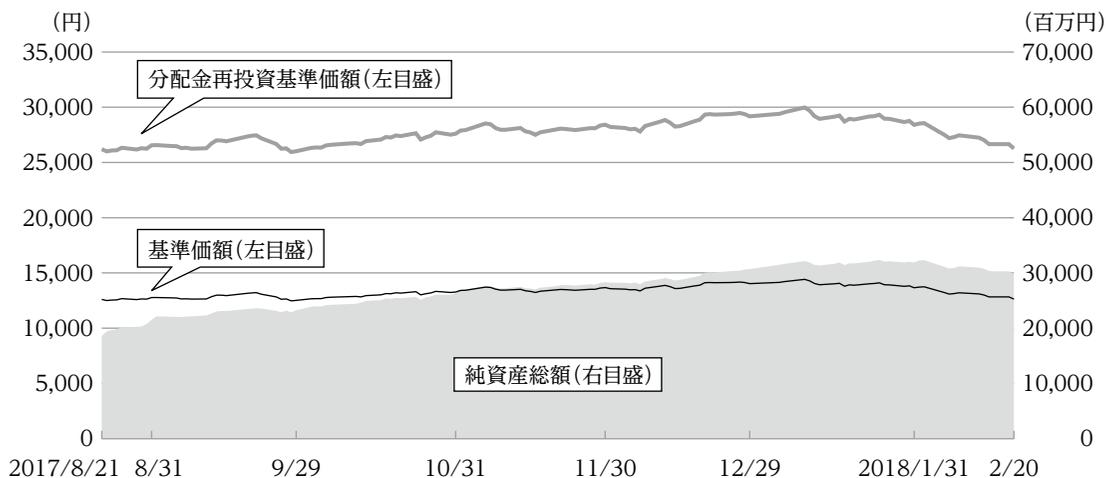
年月日	基準価額	騰落率	投資信託証券 組入比率
(期首) 2017年8月21日	円 12,603	% —	% 92.2
8月末	12,774	1.4	92.2
9月末	12,513	△0.7	94.8
10月末	13,277	5.3	95.8
11月末	13,669	8.5	98.1
12月末	14,032	11.3	95.9
2018年1月末	13,661	8.4	97.0
(期末) 2018年2月20日	12,632	0.2	95.2

(注) 騰落率は期首比です。

## 運用経過

### 基準価額等の推移について

(2017年8月22日～2018年2月20日)



第19期首	12,603円
第19期末	12,632円 (既払分配金0円)
騰落率	0.2% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについては、お客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様1人ひとりの損益の状況を示すものではありません。

### 基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は小幅に上昇しました。

上昇要因

・ 国営銀行への巨額の資本注入や道路建設プロジェクトの発表が好感されてインド株式市場が上昇したこと。

下落要因

・ 円高インドルピー安となったこと。

### インド株式市場

期首から2017年9月にかけては、物品・サービス税（GST）の徴収状況や景気対策の観測報道を受けた財政悪化懸念から売りが強まり調整する場面がみられました。10月以降はGST審議会の一部品目の税率の引下げが決定されたことや、政府による国営銀行への巨額の資本注入策と大規模な高速道路建設プロジェクトが発表されたことが好感されて堅調となりました。その後、2017年末まで一進一退の動きとなりましたが、2018年に入ると海外株式市場が大幅上昇した後、反落した動きにつられて、インド株式市場も上昇後に調整しました。また、2月中旬に明らかとなった国営銀行の不正取引問題も期末にかけて投資家心理を冷やす結果となりました。

### 為替市場

インドルピーは、2017年9月後半に米国の金利上昇や北朝鮮を巡る地政学リスクへの警戒感を背景に下落しました。その後、外国人投資家からのインド金融市場への資金流入の増加などを受けて2018年1月まで堅調となりました。しかし、2月に入ると世界的に投資家のリスク回避姿勢が強まる中でインドルピーは急落し、通期では米ドル高ルピー安となりました。また、円が対米ドルで上昇したことから、インドルピーは対円でも下落しました。

### 国内債券市場

2017年9月末に米国債利回りの上昇や日本国債格下げの可能性が報道されたことから一時日本国債利回りは上昇（価格は下落）しましたが、その後は手掛かり材料難の中、もみ合いとなりました。2018年1月には、世界的な株高、原油高を背景としたリスク選好の高まりや超長期国債買入れオペの減額などを受け、利回りは上昇しましたが、2月に入り米国の長期金利の急上昇を受けて世界的に株価が急落し、リスク回避姿勢が強まったことから、日本国債利回りは低下（価格は上昇）しました。

## ポートフォリオについて

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるイーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド（以下「インディア・コンシューマー・エクイティ」ということがあります。）の組入比率を高位に保つよう運用しました。

### インディア・コンシューマー・エクイティ

インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、信託財産の長期的な成長を目指した運用を行いました。個別銘柄調査とバリュエーションを重視し、市場全体およびセクター内で割安に評価されている銘柄を中心に

投資を行い、割高となった銘柄の組入れを減らしました。当期は、好調な販売が続いた自動車メーカーのマルチスズキや、国営銀行への資本注入による恩恵を間接的に受けるとの期待が高まったICICI銀行の保有などがプラス要因となりました。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型I (適格機関投資家向け)

主としてデュレーションをコントロールすることによって、ベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス (1-10年債) を中長期的に上回ることを目指して運用を行いました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドの運用の基本方針に適合した、公表されている指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設けておりません。

## 分配金について

分配金額は、基準価額水準・市況動向等を勘案して、以下の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用につきましては、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳（1万口当たり、税引前）

項目	第19期	
	2017年8月22日 ～2018年2月20日	
当期分配金	(円)	—
（対基準価額比率）	(%)	—
当期の収益	(円)	—
当期の収益以外	(円)	—
翌期繰越分配対象額	(円)	2,632

(注1)「当期の収益」と「当期の収益以外」は円未満は切捨てて表示しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

(注2)当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注3)－印は該当がないことを示しています。

## 今後の運用方針について

### 当ファンド

主要な投資対象の一つであるインド・コンシューマー・エクイティの組入比率を高位に保つことを基本とします。

### インド・コンシューマー・エクイティ

インドは、豊富な若年層を有する良好な人口動態、耐久消費財の低い普及率、急速な都市化などに支えられ、長期的に消費の拡大が続くことが期待されます。今後の株式市場の動向を見る上で企業業績がより重要な要因になると考えられます。過去数年、勢いを欠いていたインド企業の業績拡大は、今後設備稼働率の上昇や循環的な信用の回復に支えられて勢いを増すと見ています。外的要因に加え、国内での地方選挙の動向などによる株式市場への影響を注視しつつ、選別投資を行って参ります。

### イーストスプリング国内債券ファンド (国債)追加型I (適格機関投資家向け)

日本国債は日銀の金融緩和を背景に今後も利回りは低位で安定的に推移するものとみています。しかし、国内債券市場では市場の流動性が低下しており、海外の金利動向などで市場が一時的に不安定化する可能性もあり注意が必要です。今後もファンダメンタルズ分析、金利動向予測、イールドカーブ分析等を行いベンチマークであるICE BofAML 国債インデックス（1-10年債）を中長期的に上回ることを目指した運用を行っていく所存です。

## 1 万口当たりの費用明細

(2017年8月22日～2018年2月20日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	89円	0.664%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、13,321円です。
(投信会社)	(36)	(0.271)	委託した資金の運用の対価
(販売会社)	(50)	(0.379)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	( 2)	(0.015)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) その他費用	1	0.008	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 0)	(0.002)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印刷)	( 0)	(0.003)	目論見書および運用報告書等の法定開示書類の作成費用等
(その他)	( 0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	90	0.672	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

## 売買及び取引の状況

(2017年8月22日から2018年2月20日まで)

### 投資信託証券

			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	米ドル建 モーリシャス籍	イーストスプリング・インベスト メンツ・インディア・コンシューマー・ エクイティ・オープン・リミテッド	千口 3,570	千米ドル 110,600	千口 220	千米ドル 7,000

(注1) 金額は受渡し代金です。

(注2) 単位未満は切捨てです。

## 利害関係人との取引状況等

(2017年8月22日から2018年2月20日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## 組入資産の明細

(2018年2月20日現在)

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
イーストスプリング国内債券ファンド (国債) 追加型 I (適格機関投資家向け)	千口 24,310	千口 24,310	千円 26,408	% 0.1
合 計	24,310	24,310	26,408	0.1

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

### (2) ファンド・オブ・ファンズが組入れた外貨建ファンドの明細

ファンド名	期首 (前期末)	当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・ コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	千口 5,232	千口 8,582	千米ドル 265,794	千円 28,386,827	% 95.2
合 計	5,232	8,582	265,794	28,386,827	95.2

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨てです。

## 投資信託財産の構成

(2018年2月20日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投 資 信 託 受 益 証 券	26,408	0.1
投 資 証 券	28,386,827	94.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1,694,597	5.6
投 資 信 託 財 産 総 額	30,107,832	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨てです。

(注2) 外貨建純資産(28,493,627千円)の投資信託財産総額(30,107,832千円)に対する比率は94.6%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、2018年2月20日における邦貨換算レートは、1米ドル=106.80円です。

## 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2018年2月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	30,214,597,176円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1,587,796,705
投資信託受益証券(評価額)	26,408,509
投資証券(評価額)	28,386,827,162
未 収 入 金	213,564,800
(B) 負 債	382,531,410
未 払 金	106,780,000
未 払 解 約 金	93,189,798
未 払 信 託 報 酬	180,985,262
未 払 利 息	3,870
そ の 他 未 払 費 用	1,572,480
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	29,832,065,766
元 本	23,615,937,338
次 期 繰 越 損 益 金	6,216,128,428
(D) 受 益 権 総 口 数	23,615,937,338口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,632円

(注1) 元本の状況

期首元本額	14,771,736,353円
期中追加設定元本額	12,518,859,188円
期中一部解約元本額	3,674,658,203円

(注2) 上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

## 損益の状況

当期(自2017年8月22日 至2018年2月20日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	△ 347,760円
受 取 利 息	25
支 払 利 息	△ 347,785
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 501,038,152
売 買 益	533,753,510
売 買 損	△1,034,791,662
(C) 信 託 報 酬 等	△ 183,080,940
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	△ 684,466,852
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 213,523
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	6,900,808,803
(配 当 等 相 当 額)	( 5,024,174,232)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 1,876,634,571)
(G) 計 (D+E+F)	6,216,128,428
(H) 収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	6,216,128,428
追 加 信 託 差 損 益 金	6,900,808,803
(配 当 等 相 当 額)	( 5,024,174,232)
(売 買 損 益 相 当 額)	( 1,876,634,571)
繰 越 損 益 金	△ 684,680,375

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

計算期間末における費用控除後の配当等収益(0円)、費用控除後の有価証券売買等損益(0円)、および信託約款に規定する収益調整金(6,216,128,428円)より、分配対象収益は6,216,128,428円(10,000口当たり2,632円)ですが、当期に分配した金額はありません。

## 分配金のお知らせ

当期の分配金は基準価額水準および市況動向等を勘案し、見送らせていただきました。

### 復興特別所得税について

2013年1月1日から2037年12月31日までの間、普通分配金並びに解約時又は償還時の差益に対し、所得税額に対して2.1%の税率で復興特別所得税が付加されます。

上記は、当ファンドの直近決算日時点のもので、今後税法が改正された場合等には税率等が変更される場合があります。

※法人の受益者に対する課税は異なります。

※税金の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

## お知らせ

該当事項はありません。

<参考情報>

■投資対象とする投資信託証券の仕組み

ファンド名	イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド	
形態	モーリシャス籍外国投資法人／オープン・エンド型	
表示通貨	米ドル	
運用の基本方針	インドの消費関連企業の株式を主要投資対象とし、長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	インドの消費関連企業の株式	
ベンチマーク	ありません。	
ファンドの関係法人	運用会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	投資顧問会社	ICICI ブルーデンシャル・アセット・マネジメント・カンパニー・リミテッド（略称：ICICIAM）※ <sup>1</sup>
	管理会社	ドイチェ・インターナショナル・トラスト・コーポレーション（モーリシャス）リミテッド
申込手数料	ありません。	
運用報酬および管理報酬等	年率0.60%（上限）	
その他の費用・手数料	有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設立日	2008年5月6日	
決算日	毎年8月31日	

ファンド名	イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型 I（適格機関投資家向け）	
形態	国内籍証券投資信託／適格機関投資家私募	
表示通貨	日本円	
運用の基本方針	わが国の国債を中心に、国債、政府保証債、地方債等の公共債を主要投資対象とし、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指した運用を行います。	
主な投資対象	日本の国債、政府保証債、地方債	
ベンチマーク	ICE BofAML 国債インデックス（1－10年債）※ <sup>2</sup>	
ファンドの関係法人	委託会社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社
	投資顧問会社	イーストスプリング・インベストメンツ（シンガポール）リミテッド
	受託会社	三菱UFJ信託銀行株式会社
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株式（新株引受権証券および新株予約権証券を含みます。）への投資割合は、取得時において信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・投資信託証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。</li> <li>・外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。</li> </ul>	
申込手数料	ありません。	
信託報酬	年率0.216%（税抜0.2%）	
その他の費用・手数料	監査費用、有価証券売買時の売買委託手数料等がかかります。	
設定日	2002年8月26日	
決算日	毎年2月25日（休業日の場合は翌営業日）	

※1 ICICIAMは、ICICI銀行と世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社（以下「最終親会社」）との合弁会社です。

なお、最終親会社およびICICIAMは、主に米国で事業を展開しているブルデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

※2 ICEデータ・サービスおよびその関連会社は、提供するインデックスデータに関してその継続性、正確性、完全性を保証するものではなく、当該データ提供に係り発生し得る損害についてもその事由の如何を問わず責任を負うものではありません。

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が主要投資対象とする「イーストスプリング・インベストメンツ・インディア・コンシューマー・エクイティ・オープン・リミテッド」の情報をご報告申し上げます。法令等に則り、2017年8月31日を基準日とするFinancial Statements（監査済み）を基に、委託会社が抜粋、翻訳したものを記載しております。

## 純損益及びその他包括利益計算書

2017年8月31日に終了した事業年度

米ドル

### 収益

受取配当金

954,965

954,965

### 費用

運用報酬

(418,874)

保管銀行費用

(51,360)

管理費用

(45,943)

計算事務費用

(20,944)

監査報酬

(32,000)

売買委託手数料

(441,497)

その他費用

(73,214)

(1,083,832)

### 投資及び外国為替取引における実現及び未実現利益（損失）

投資有価証券の売却に係る実現純利益（損失）

4,358,620

投資有価証券の再評価に係る未実現純利益（損失）

16,624,853

外国為替取引に係る純利益（損失）

(84,592)

20,898,881

### 償還可能優先証券保有者に帰属する税引前純資産の変動額

20,770,014

税金

(51,315)

### 償還可能優先証券保有者に帰属する純資産の変動額

20,718,699

## 投資有価証券明細表

2017年8月31日現在の上場株式

銘 柄	株 数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率(%)
株式:				
Aditya Birla Fashion and Retail Ltd	353,228	762,125	943,278	0.51%
Amara Raja Batteries Ltd	125,061	1,692,249	1,520,395	0.83%
Apollo Hospitals Enterprise Ltd	116,333	2,269,912	1,967,372	1.07%
Asian Paints Limited	66,187	359,854	1,208,191	0.66%
Axis Bank Limited	1,269,680	9,234,816	9,923,931	5.39%
Bajaj Corporation Limited	45,494	264,006	282,066	0.15%
Bajaj Finserv Ltd	35,903	2,489,707	3,086,270	1.68%
Bata India Limited	28,058	296,526	298,417	0.16%
Bharti Airtel Limited	732,840	3,612,147	4,896,254	2.66%
Britannia Industries Limited	41,365	1,784,631	2,733,924	1.48%
Cipla Limited	253,088	2,088,402	2,261,034	1.23%
Eicher Motors Ltd	3,666	1,349,155	1,801,111	0.98%
Endurance Technologies Ltd	230,655	1,636,318	3,593,389	1.95%
Equitas Holdings Ltd	695,835	1,786,669	1,904,934	1.03%
Exide Industries Ltd	315,789	1,042,010	971,064	0.53%
Federal Bank Limited	1,060,263	932,038	1,794,560	0.97%
Glaxosmithkline Consumer Healthcare Limited	16,677	1,333,697	1,399,320	0.76%
Havells India Ltd	429,672	2,501,303	3,277,810	1.78%
HDFC Bank Limited	412,744	11,369,741	11,453,792	6.22%
Hindustan Unilever Limited	96,809	1,061,577	1,844,600	1.00%
Housing Development Finance Corp Ltd	159,395	3,818,874	4,424,388	2.40%
ICICI Bank Limited	2,916,478	10,954,378	13,578,862	7.38%
Indusind Bank Limited	271,055	6,127,346	7,015,037	3.81%
Inox Leisure Limited	11,373	42,453	43,935	0.02%
Interglobe Aviation Limited	116,558	2,023,363	2,236,465	1.21%
ITC Limited	2,874,506	12,348,766	12,673,971	6.88%
Jubilant Foodworks Ltd	54,421	764,988	1,185,497	0.64%
Kotak Mahindra Bank Limited	413,588	4,124,745	6,305,700	3.42%
LIC Housing Finance Ltd	218,754	1,618,653	2,302,686	1.25%
Lupin Limited	107,362	1,866,639	1,642,663	0.89%
Mahindra & Mahindra Finance Services Ltd	548,350	3,480,432	3,661,925	1.99%
Mahindra & Mahindra Limited	365,320	6,783,202	7,674,440	4.17%

銘 柄	株 数	取得金額 (米ドル)	評価金額 (米ドル)	対純資産 比率(%)
Maruti Suzuki India Limited	74,812	5,576,053	8,999,004	4.89%
Max Financial Services Ltd	166,002	1,581,786	1,559,914	0.85%
Motherson Sumi Systems Limited	686,724	2,481,630	3,305,137	1.80%
Muthoot Finance Ltd	315,920	2,111,877	2,350,324	1.28%
Orient Paper & Industries Limited	1,119,381	574,360	1,723,257	0.94%
Procter and Gamble Hygiene and Healthcare Ltd	15,730	1,948,523	2,036,840	1.11%
S Chand and Company Limited	298,518	3,111,614	2,193,579	1.19%
Sheela Foam Limited	123,605	2,002,143	2,582,337	1.40%
SRF Limited	64,549	1,303,783	1,546,030	0.84%
State Bank of India	1,482,644	6,157,462	6,432,895	3.49%
Sun Pharmaceutical Industries Ltd	265,822	2,142,135	1,997,961	1.09%
Tata Chemicals Limited	223,230	1,696,193	2,036,657	1.11%
Tata Motors Limited	1,051,167	7,965,149	6,183,152	3.36%
Tata Motors LTD-A-DVR	364,711	1,600,978	1,246,271	0.68%
Thomas Cook India Limited	950,578	2,782,744	3,416,803	1.86%
Titan Company Limited	195,566	1,072,774	1,885,230	1.02%
TVS Motor Company Limited	469,011	2,395,777	4,423,029	2.40%
		<u>148,325,703</u>	<u>173,825,701</u>	<u>94.41%</u>
その他資産			10,294,339	5.59%
純資産			<u>184,120,040</u>	<u>100.00%</u>

「イーストスプリング・インド消費関連ファンド」が組み入れている「イーストスプリング国内債券ファンド（国債）追加型Ⅰ（適格機関投資家向け）」の直近の決算にかかる運用状況をご報告申し上げます。

## 1万口当たりの費用明細

項目	当期 2016/2/26 ～2017/2/27		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	24円	0.217%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は、10,968円です。
（投信会社）	(15)	(0.141)	委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
（販売会社）	(2)	(0.022)	
（受託会社）	(6)	(0.054)	
(b) その他費用	6	0.052	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（監査費用）	(6)	(0.051)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	余資運用に係る費用（マイナス金利相当額）
合計	30	0.269	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 組入資産の明細

(2017年2月27日現在)

公社債

(A) 種類別開示

国内（邦貨建）公社債

組入有価証券明細表

区分	当			期			末		
	額面金額	評価額	組入比率	うちBB格 以下 組入比率	残存期間別組入比率				
					5年以上	2年以上	2年未満		
国債証券	千円 738,000	千円 804,874	% 99.0	% —	% 42.2	% 40.7	% 16.1		
合計	738,000	804,874	99.0	—	42.2	40.7	16.1		

(注1) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。

(注3) —印は組入れなしです。

(B) 個別銘柄開示  
 国内（邦貨建）公社債  
 組入有価証券明細表

種 類	銘 柄	当 期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
国債証券	第112回 利付国債（5年）	0.4	40,000	40,358	2018/06/20
	第285回 利付国債（10年）	1.7	80,000	80,080	2017/03/20
	第298回 利付国債（10年）	1.3	10,000	10,284	2018/12/20
	第300回 利付国債（10年）	1.5	8,000	8,287	2019/03/20
	第301回 利付国債（10年）	1.5	25,000	25,998	2019/06/20
	第305回 利付国債（10年）	1.3	7,000	7,295	2019/12/20
	第306回 利付国債（10年）	1.4	20,000	20,972	2020/03/20
	第310回 利付国債（10年）	1.0	25,000	26,041	2020/09/20
	第311回 利付国債（10年）	0.8	50,000	51,725	2020/09/20
	第313回 利付国債（10年）	1.3	25,000	26,483	2021/03/20
	第315回 利付国債（10年）	1.2	20,000	21,165	2021/06/20
	第47回 利付国債（20年）	2.2	40,000	43,378	2020/09/21
	第48回 利付国債（20年）	2.5	50,000	55,085	2020/12/21
	第53回 利付国債（20年）	2.1	40,000	44,302	2021/12/20
	第60回 利付国庫債券（20年）	1.4	30,000	32,627	2022/12/20
	第63回 利付国債（20年）	1.8	50,000	55,973	2023/06/20
	第67回 利付国債（20年）	1.9	45,000	51,264	2024/03/20
	第69回 利付国債（20年）	2.1	40,000	46,135	2024/03/20
	第75回 利付国債（20年）	2.1	20,000	23,410	2025/03/20
	第80回 利付国債（20年）	2.1	58,000	68,170	2025/06/20
	第87回 利付国債（20年）	2.2	55,000	65,833	2026/03/20
合 計			738,000	804,874	

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切捨てです。